

資金繰り支援の次に必須の経営改善・再生支援に向けた認定支援機関業務の最前線！

# コロナ禍の金融支援を踏まえた 認定支援機関業務の新たな取り組みのご案内

- ・中小企業のおかれている経営環境は益々厳しさを増しています。
- ・コロナ禍の環境の中で、一刻も早い経営方針の見直しや改善計画等に向けた具体的対応が求められます。金融機関も今後の支援の際は、現実性の高い事業の改善計画と進捗管理を把握できる資料を求めます。
- ・JPBMでは、それらを踏まえて、専門家の支援業務として、国の恒常的施策である「早期経営改善計画策定支援」を入り口とした経営支援を展開します。
- ・地域金融機関との連携も視野にいれ、是非多くの会員のご参画を募ります。

## 金融行政・機関は今後経営改善や事業再生支援に軸足を移します！

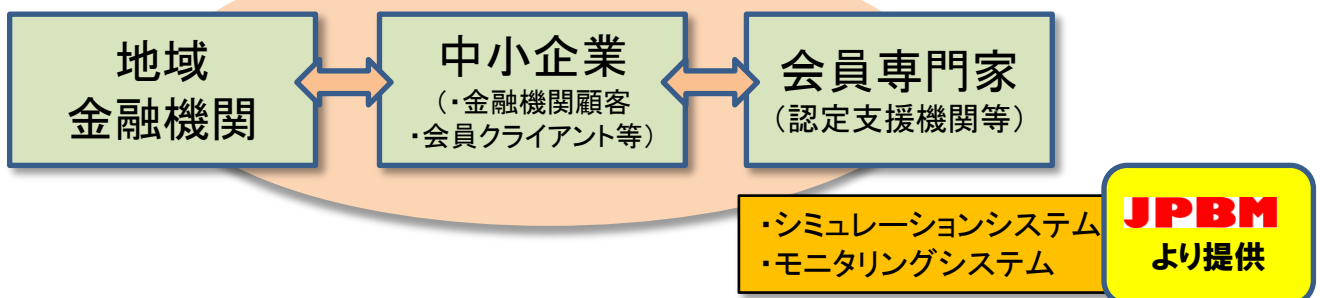
・金融庁から発表された「令和2事務年度 金融行政方針」では、『コロナ禍の状況等も見極めながら、資金繰り支援から、資本金等も活用した事業者の経営改善・事業再生支援等に軸足を移し、コロナ後の新たな日常を踏まえた経済の力強い回復と生産性の更なる向上に取り組む』と発信しています。併せて円滑な事業者支援には、地域の関係者（金融機関、支援協議会、保証協会、税理士等）の連携および支援態勢の実効性を確保しノウハウを共有する等の取組みを支援していく、としています。



## 「早期経営改善計画策定支援」を契機に安定した資金計画と経営を！

・コロナ禍でいかに事業継続していくか。施策による資金繰り支援が一巡した中で、今後は安定した資金計画および改善計画と地域金融機関との連携が重要になります。JPBMでは認定支援機関業務である「早期経営改善計画策定支援」事業をきっかけに、会員専門家に向けた支援スキームを提案します。

### 「早期経営改善計画策定支援」事業等の活用



「早期経営改善～」に対応！モニタリングも加えたシステムのご案内

# 「意思決定支援システム」およびモニタリングシステム (EXCEL) のご紹介

JPBM会員 西野光則税理士開発

経営の現況と未来を“見失わない”ためのシミュレーションシステム(会員無料)

## システムのコンセプト

- コロナ禍の中で中長期シミュレーションを行い経営の方向性を見出していかなければならない企業は数えきれない位発生します。
- 今回あらたに、「早期経営改善策定支援」事業に対応可能なバージョンとして機能を付加しました。モニタリングシステムも併せて提供します(会員無料)。
- 既存の計画書より格段に精度・実務性が高く、操作はいたってシンプルです。経営者と経営分析等のロジックを理解する専門家が一緒に「経営の見える化」を図りながら、経営改善および良好な金融機関との関係構築に役立っています。

## システムの主な特徴(意思決定支援システム)

- ・ Excel なのでどの企業でも使える。
- ・ 通常の損益計算書を変動損益計算書簡単に変更できるのでシミュレーションしやすくなっている。
- ・ 変動損益計算書で15年間シミュレーション出来るだけでなく、設備投資、借入金の借入れ条件を設定し資金と連動する
- ・ 上記の設備投資、個々の借入金で詳細設定が難しい企業にも対応できるように簡易な操作が可能となっている。
- ・ 貸借対照表を作成しているためキャッシュ・フロー計算書が連動する。
- ・ マクロ(vvisual basic)で動くので操作が迅速に行える。
- ・ 関数を壊したときに備え復帰処理 が組み込まれているのでシステムを壊さない。

## \* 地域金融機関連携メンバー(「連携メンバー」)登録を募集します \*

- ・ 今後、各地域の金融機関等と業務連携を予定しています。当システムを使用した金融機関との連携(紹介案件への対応、金融機関職員への教育等)を想定します。JPBMでの勉強会や事例共有等を前提に、対応いただける若手実務家の参画を募集します。

## 【利用申込書】\*ご利用希望する担当者様のお名前・メール等記入ください

お申込み		令和	年	月	日
貴事務所名	電話				
	FAX				
お名前	E-mail	@			
	E-mail	@			

\*「連携メンバー」へ登録したい( ) \*「連携メンバー」の内容を詳しく知りたい( )

●お問合せ: JPBM(一般社団法人日本中小企業経営支援専門家協会)  
「意思決定支援システム」お問合せ係 担当:若松、山形、佐伯  
TEL:03-3253-4711 FAX:03-3526-3051

↑ ↑ FAX: 03-3526-3051 info@jpbm.or.jp ↑ ↑